

【令和3年度 第1回大山町総合教育会議】 議事録

教育長

第1回総合教育会議を行います。町長から挨拶をお願い致します。

町長

本日の主要なテーマは保育所給食業務について相談させていただきたい。それぞれの委員さんの立場や視点からご意見をいただきたいと思います。大山町の教育環境を更に充実するように努めていきたいと考えています。宜しくお願い致します。

教育長

今日の総合教育会議は議題の関係上、各拠点保育園長も同席しています。皆様方のお力を頂きながら教育の推進を行っていきたいと思います。本日は今後の大山町の教育の方向性についての協議になると考えています。皆様方の忌憚のないご意見を宜しくお願い致します。協議事項（1）保育所給食業務について事務局から説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

協議事項（1）保育所給食業務について、まず、給食調理職員の配置状況の資料から令和3年度末に正職員1名、再任用職員1名の退職、令和4年度末に正職員1名、再任用職員1名の退職があり、今後、全園に正職員が配置できない状況になっていきます。4月～5月にかけて保育所調理師、調理補助職員の24名全員と、現在、学校給食センターで調理業務に携わっている方の中で、過去に町職員として調理業務に携わった経験がある6名にアンケートを行い別紙にあげています。また、アンケートに対しての保育所長会での意見もまとめています。

町長

大山町の小中学校の給食業務はすでに民間企業へ委託して10年以上経過しています。今、大山町は民間企業に委託した後も連携をとりながら食育に力を入れて取り組んでいます。給食に関する保護者の課題やニーズは食の安全だと考えています。食の安全ということで真っ先に思い浮かぶのが異物の混入ですが、昨年度の異物混入事案は、小中学校の民間企業の委託先では1件でした。大山町内の保育園は6件発生しています。提供する量から考えてもかなりの割合です。民間企業は異物混入を未然に防ぐ形で業務をしています。日本でも大手の受託事業者に委託していますので、ノウハウの蓄積が行政と違って大きいところもありますが、食の安全を考えた時に行政で進めていくのがいいのか、町内でも委託の実績がある民間企業に任せたいのかの検討を重ねています。一斉に民間委託に切り替えるのではなく、正職員の退職により正職員の配置が出来なく

なった保育所の調理現場から徐々に民間委託にできればと考えています。その他、今、働いておられる正職員以外の方も仕事がなくなることがないように委託業者に移ってもらう等、様々な選択肢を用意しながら配慮をしていきたいと考えています。食の安全はこれから増々厳しくなると考えていますので保育所給食業務を委託する方向で進めていきたいと考えています。

教育長

正職員配置の状況や食の安全を考えたくえて、今後の保育所給食業務について教育委員の皆様からご意見をお願いします。

委員

保育所調理業務に携わっている方のアンケートを読むと外部委託に賛成でないように感じる。教育の観点からみると外部委託よりも正職員を採用してもらったほうが良いというアンケートの意見がほとんどのように思います。

幼児・学校教育課長

アンケートの内容の食育の部分ですが、調理師と園児とのふれあいの面で、主に調理をしている姿が見えるとあります。保育所では自園調理が基本ですので、外部委託になっても「調理している姿が見える」ことは維持が出来ると思います。食育活動、菜園活動で作った野菜を給食で使う場合も施設の責任者である園長の確認で使用することができます。また、地域の方との交流で頂いた食材も同様に安全かどうかの確認を責任者が確認したうえで献立の変更を含めて調理に使用することはできます。

委員

学校給食調理従事者のアンケートの内容で、外部委託で大きく変わった点の回答に、困った時は会社に相談できる、衛生面の管理では会社独自の衛生マニュアルを使って事業管理しているので衛生面が徹底されている、委託になってから研修が充実していて力がついた等の意見がある。アンケートを読んで民間委託は良いのではないかと感触を持っている。民間委託をしても連携をしっかりとれば、食育活動や地産地消の取り組みやアレルギー対応をしていただければと思います。危機管理が今以上にある安心安全な給食という点について民間委託は良いのではないかと私は思っています。ただ、今働いている方がどうなるのかの心配はあります。

教育長

小学校では生産者とのふれあいや、子ども達が地産地消で地元の食材をとり入れた献立を考え給食で食べる等の食育の取り組みも委託企業に依拠してもらっている。委託しても

食育活動はしっかりと行うことができます。

委員

委託にされるきっかけが、異物混入とアレルギー食という事で子ども達の命に関わる大切な事だと思いますが、大山町内の保育所調理業務に関わる正職員以外の方々に対して研修を今までしてこなかったことにびっくりしています。それにも関わらず、保育所給食業務に関わる方は子ども達のために一生懸命に取り組んでおられます。異物混入があるというだけで、きちんと説明もされないままに委託の話が進んでいるのはとても残念に思います。食育や地域の方と連携して安心できる給食を提供してきたという誇りを汲んでもらったうえで、働いている方の気持ちや今まで培ってきたものを大切にさせていただきたいと思います。異物混入だけをみて話が流れることがないようにしていただきたい。

委員

6件の異物混入はどういったものですか。

幼児・学校教育課長

内容は食材由来のもので、食材の袋のビニール片の混入が4件、虫の混入が2件です。

町長

研修についての意見がありましたが、民間企業の委託先は大手ですので事例のつみあげや現場間での共有が研修内容になってくると思います。これを町内の保育所だけでやるのは難しいと考えています。民間企業の危機意識や危機管理は行政が考える以上にしっかりされているため取組に差が出てくるのではないかと思います。

委員

子どもが保育所の頃から五感で食育をうけていて、食に対して意欲的な子どもに育っています。保育所の頃からの給食のおかげだと思います。

保育園長

先日、幼児教育室が主催で調理従事者研修が行われ調理師や調理補助員と共に園長、副園長も委託業者の検品の仕方やマニュアルに基づいた点検の仕方を動画で見せていただいた。そこまでの研修が今までなかったのもとても良い機会を与えてもらいました。いろいろな立場の者が同じ研修を受けて、職場でも話し合うことが出来るため意識が高まるのではないかと感じました。

委員

調理業務に関わる方の意識レベルが統一され、チームワークが良くなるなら委託されるほうが良いと感じましたが、小さい保育園ならではの良さを活かした調理があっても良いのではないかと思います。ただ、アレルギーのお子さんが多いのでしっかり研修を受けていただきたい気持ちはあります。

町長

基本的には保育所調理業務に関わっておられる方に辞めてもらい総替えするイメージではなく、引き続き働いていただける方は引き続き働いていただきたいと考えています。公務員の会計年度職員は頑張ったから正職員になるかというようになりますが、民間企業の良いところはパート社員の方が頑張られて希望したり会社から声がかかって正社員になることがある等、頑張れば頑張る程、昇給がある場合や処遇が変わる場合があるので、働いている方にも良いのではないかと思います。

委員

学校給食調理事業者のアンケート内容で下処置がスムーズになった、新しい情報が増えて運営に活かしている、委託前は臨時職員でもあったので研修会に出た事がなかったが委託先では年4～5回の研修が受けられるとあります。このアンケートから委託したほうが良くなると受け取りました。委託になっても今の良いところを変えないように条件を付けながら委託業者と連携を取り新しい道に進んでいかれても良いのではないかと思います。

町長

処遇についてですが、民間企業ですので人によって変わってくるのが基本ではないかと思います。スタートの時点では民間企業のほうが厳しいかもしれませんが年数を重ねた時の評価によって、どの処遇になっていくかは人によるところが大きいと思います。特に大手の企業ですので民間企業ならではの福利厚生があると思います。金銭的な事以外の面も含めてアンケート内容に意見のバラつきがあると思います。繰り返しになりますが一斉に委託に出すのではなく、まずはひとつの保育所で実際にやってみてメリット、デメリットを検証していくことが必要だと思います。進んでみないと分からないことがあると思いますので、是非、進めさせていただきたいと思っています。

委員

今まで大山町で培ってきた食育をそのまま民間企業でも続けていくことや、調理従事者の方の不安を取り除けるような詳しい説明をしていただきながら事業を進めてほしいと思います。

保育園長

研修について誤解があったらいけないと思いますので発言させてください。保育士、調理師の正職員については西部地区保育協議会、県のはぐくみ協会の主催で年に3～4回研修を受け園内で全体に話しをしていました。異物混入があった場合は各園長ができる範囲で共通認識を図ってきたつもりです。今回、幼児教育室主催の研修で職員が同じ研修を受けることで意識を高めるのは大切なことだと思いました。今まで研修が皆無だったわけではなくアレルギー食について等、正職員は毎年出席して園内で話をしていたと思います。

教育長

委員さんからご意見をいただいた、食の安全、食育の継続、待遇面、研修面について調査し皆さんに示していきたいと思います。皆さんの意見を基に今後の保育所給食業務の民間委託を視野に入れながら協議をしていく方向で皆さんよろしいでしょうか。

全委員

了承。

教育長

ありがとうございます。

町長

保育所給食業務に関しては皆様の意見を基にしっかりと進めさせていただきたいと思っております。宜しくお願い致します。給食業務とは別ですが昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた子育て世代の方に何かできないかということで、給食費を通常2分の1補助のところを全額補助させてもらいました。政策を協議する中で、今年度以降は少子化対策事業として2分の1補助を元々行っていましたので、そこに立ち返り給食費無償化を続けていきたいと考えています。少子化対策の事業ということで予算は少子化対策を担当する、こども課から給食会計に補助する形になります。6月議会で予算提案をさせていただき議決いただければ、今年度も引き続き無償化を進めていきたいと考えています。財源としましても昨年度はコロナの臨時交付金を活用しましたが、今年度以降は、ふるさと応援基金の子育て支援・教育分野に使う基金が十分にあるので活用していきたいと考えています。

教育長

第1回大山町総合教育会議を終わりたいと思います。皆さんありがとうございました。